

水質検査の信頼性確保に関する取組について

(案)

平成22年〇月

水質検査の信頼性確保に関する取組検討会

目 次

はじめに	1
1. 水道法に基づく水質検査制度	2
2. 水質検査を取り巻く状況	5
2.1. 水道事業者等の水質検査実施状況	5
2.1.1. 水道事業体の水質検査状況	6
2.1.1.1. 委託先の内部精度管理把握状況	6
2.1.1.2. 水質検査委託先の選定理由	6
2.1.1.3. 水道水質検査の委託契約形態	7
2.1.1.4. 水質検査結果書以外に提出を求めている事項	7
2.1.1.5. 緊急時の水質検査について	8
2.1.1.6. 水質検査委託費用	8
2.1.1.7. 水質検査時の技術的問題発生について	10
2.1.2. 水道水質検査の低入札価格調査制度等の利用状況について	10
2.1.2.1. 低入札価格調査制度の利用状況について	11
2.1.2.2. 最低制限価格制度の利用状況について	11
2.2. 登録検査機関の水質検査状況	12
2.2.1. 登録検査機関数の推移	12
2.2.2. 登録検査機関の地域分布	12
2.2.3. 登録検査機関の規模	13
2.2.4. 登録検査機関の水質検査状況	14
2.2.4.1. 50 項目検査の受託件数及び上限数	14
2.2.4.2. 水質検査契約形態	15
2.2.4.3. 検査依頼者の水源の種類や浄水処理方法等の把握、助言の可否	15
2.2.4.4. 水質検査の再委託	15
2.2.4.5. 業務規程料金	16
2.2.4.6. 検査料金の算定に考慮する項目	16
2.2.4.7. 受託する検査料金の引き下げ	16
2.2.4.8. 水質検査の実施方法	17
2.2.4.9. 試料採取後から試験開始までの期間を証明できる資料	18
2.2.4.10. 試料の輸送手段	19
2.2.4.11. 水質検査結果に関する資料の保管状況	19
2.3. 国の登録検査機関への指導・監督状況	19

3. 取組の基本的方向性と具体的な取組について	21
3.1. 水道水質検査に関する関係者の取組むべき姿勢	21
3.2. 水道事業者等の取組について	22
3.2.1. 水質検査の適切な委託と検査結果の確認	22
3.2.2. 水道水質の精度管理と信頼性の確保	24
3.2.3. 水質異常時等の危機管理体制の確立	25
3.3. 登録検査機関の取組について	26
3.3.1. 登録検査機関の適切な水質検査の実施	26
3.3.2. 適切な水質検査を実施するための検査料金の確保	28
3.3.3. 水道水質管理に関する登録検査機関の貢献	28
3.4. 国の取組について	29
3.4.1. 水質検査機関の登録及び更新時等の審査	29
3.4.2. 登録検査機関の日常の水質検査業務への指導及び監督	30
3.4.3. 外部精度管理調査	31
おわりに	32
委員名簿	33
審議経緯	34
ヒアリング内容	34